



2019年11月5日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊
(コード番号 4569 東証第1部)
問合せ先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典
電 話 03-3525-4707

業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月13日に公表した2020年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,100	2,300	2,500	1,900	33.17
今回修正予想 (B)	48,300	800	1,100	800	14.56
増減額 (B - A)	-3,800	-1,500	-1,400	-1,100	—
増減率 (%)	-7.3	-65.2	-56.0	-57.9	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期 第2四半期)	50,360	2,852	3,183	2,217	30.04

2. 業績予想数値の修正理由

新医薬品(国内)において、当第2四半期連結累計期間に売り上げを見込んでいた主力製品「デザレックス錠5mg」の供給再開時期が11月となったこと、またキノロン系経口抗菌剤「ラスビック錠75mg」の製造販売承認が9月となり、発売時期が遅延したことを主因として、売り上げが当初予想を下回る見通しとなったことから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益を下方修正いたします。

3. その他

2020年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、現在見直し中であり、当第2四半期決算発表時(11月7日予定)に開示させていただきます。

以上

補足資料

1. 連結売上高について（第2四半期連結累計期間）

（単位：億円）

	2019年3月期 第2四半期 （実績）	2020年3月期 第2四半期 （当初予想）	2020年3月期 第2四半期 （修正予想）	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	504	521	483	-21	-38
医療用医薬品事業	476	491	455	-21	-36
新医薬品	340	338	313	-27	-25
国内	334	334	309	-25	-25
海外	6	4	4	-2	-0
後発医薬品	136	152	142	+6	-10
ヘルスケア事業	28	29	28	0	-1

2. 主要製品の売上高について（第2四半期連結累計期間）

（単位：億円）

	2018年3月期 第2四半期 （実績）	2019年3月期 第2四半期 （当初予想）	2019年3月期 第2四半期 （修正予想）	対前年 増減額	対当初予想 増減額
国内新医薬品					
フルティフォーム	61	66	67	+6	+1
ウリトス	35	31	30	-5	-1
デザレックス	28	18	0	-28	-18
キプレス（成人製剤）	29	22	24	-5	+2
キプレス（小児製剤）	33	27	30	-3	+3
ナゾネックス	13	31	27	+14	-4
ベオーバ	—	7	6	+6	-1
ペンタサ	71	63	68	-3	+5
ムコダイン	31	27	28	-3	+1
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※1	53	55	54	+1	-1
モメタゾン点鼻液「杏林」※2	—	—	4	+4	—

※1 モンテルカスト（キプレス）のオーソライズド・ジェネリック（AG）

※2 モメタゾン点鼻液（ナゾネックス）のオーソライズド・ジェネリック（AG）

（注）上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。